

2019年8月14日

各位

会社名 株式会社バリューデザイン
 代表者名 代表取締役社長 尾上 徹
 (コード番号：3960 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役管理本部長 上田 恭子
 (TEL. 03-5542-0088)

2019年6月期通期業績予想と実績の差異と特別損失(減損損失)の計上に関するお知らせ

2019年5月14日に公表した2019年6月期(2018年7月1日～2019年6月30日)の通期連結業績予想及び個別業績予想と本日公表した実績の差異および特別損失の計上について、以下の通りお知らせいたします。

1. 2019年6月期の連結業績予想数値と実績の差異(2018年7月1日～2019年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益又は営業損失(△)	経常利益又は経常損失(△)	親会社株主に帰属する当期純利益又は当期純損失(△)	1株当たり期純利益又は1株当たり当期純損失(△)
前回発表予想(A)	2,060	△114	△126	△105	円 銭 △71.51
実績(B)	2,066	△65	△80	△150	円 銭 △102.20
増減額(B-A)	6	49	46	△45	-
増減率(%)	0.30	-	-	-	-
(参考)前期通期実績 (2018年6月期)	2,053	79	64	33	円 銭 22.83

2. 2019年6月期の個別業績予想数値と実績の差異(2018年7月1日～2019年6月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益又は営業損失(△)	経常利益又は経常損失(△)	当期純利益又は当期純損失(△)	1株当たり期純利益又は1株当たり当期純損失(△)
前回発表予想(A)	2,012	△18	△28	△32	円 銭 △21.79
実績(B)	2,017	11	△4	△96	円 銭 △65.48
増減額(B-A)	5	29	24	△64	-
増減率(%)	0.27	-	-	-	-
(参考)前期通期実績 (2018年6月期)	2,029	14	147	89	円 銭 61.16

3. 差異の理由

当第4四半期中に発生した以下4点の要因により、営業損失及び計上損失が縮小いたしました。

- ① ハウスプリペイド事業において、システム利用料が見通しを超過したこと及び初期売上の粗利の
良化（約12百万円）
- ② システム運用の為の外部委託費用などの削減（約6百万円）
- ③ 海外における新サービス機能の、顧客理由による導入スケジュール変更（約21百万円）
- ④ QR等コード決済接続サービスにおける、接続先追加のスケジュール変更（約10百万円）

4. 特別損失（減損損失）の内容

市場環境の変化及び足元の案件進捗の状況を考慮し、保有する資産に係る投資額と回収可能額について見直しを行った結果、当初計画した投資回収期間に対して長期化が見込まれると判断したため、これらに係る固定資産について減損処理を行い、92,818千円を減損損失として特別損失に計上いたしました。

以 上